

令和5年3月20日

南の風 For Junior 118

南部地区ミニバスケットボール連盟

会長 藤原 敬一

前号の続きになります。オフボールスクリーンに対する特殊な守り方の二つ目と三つ目です。

②トラップ

相手チームのトップの3が、右ウイングの2のディフェンスにスクリーンに行き、2が左ウイングの1からボールを受けようとした瞬間、3のディフェンスと2のディフェンスが2をトラップに行き、ボディアップして簡単にボールを持たさないやり方です。これは2が強力なシューターの場合、絶対にボールを持たさないためにおこなわれます。また2があまりハンドリングがよくなかったり、経験が少なかったりする選手の場合、ボディアップすることによってミスを誘うときに用いられます。ユーザーとスクリーナーのディフェンスが一気にトラップを仕掛けることで、相手を圧迫します。

③トップロック

これは、3が右ウイングの2のディフェンスにスクリーンに行ったときに、2のディフェンスが上に跳びだして2が行きたいコースをふさぎ、2に敢えてバックカットをさせるというやり方です。2のディフェンスが跳びだすことによって、2が行きたかったコースをさえぎり相手の思うようなプレーをさせないことが目的です。バックカットでやられる可能性は残りますが、相手の計画を潰すことがねらいになるのです。またバックカットへのパスは精度が落ちることが多いこともこのやり方を取り入れる理由です。

以上、オフボールスクリーンに対する守り方を紹介しました。最も大事なことは、それぞれのチームで考え方を統一しておくことです。「オフボールスクリーンに対しては、〇〇〇のやり方で守ろう」ということを、共通理解し練習でも取り組んでおくことを奨めます。意思の疎通がないと、相手に仕掛けられに混乱してしまうので、必ずやっておきましょう。

U15のカテゴリーでもオフボールスクリーンに対する守り方は、経験しておくことが必要です。練習内容が多岐にわたってしまう恐れもありますが、何回かはやっておきましょう。

最後に中学生、ミニバスの皆さんに伝えたいことを書きます。今回はオフボールスクリーンの守り方でしたが116号に書いたように、ディフェンスの大きな原則として、『ポジション』、『ビジョン』、『トーク』があります。このことを常に忘れずに取り組んでください。

ポジションとは、守る位置（場所）になります。プレーの展開によって素早く動き、ポジション取りをします。ボールの動きに遅れることなく、位置取りをします。

ビジョンとは、視野です。基本としてボールの位置とマイマン（自分が守る相手）をいつも見える範囲に入れておきます。必要に応じてアングル（角度）を変えて見やすくすることが大事です。

三つ目がトークです。声で伝えることです。情報伝達になります。何処で、何が起きそうなのか、相手が狙っていることは何かなど、いつもしゃべり続けましょう。間違っても構わないので、とにかくしゃべることです。チームの習慣にしましょう。